

ふくよか

2017冬号

■長崎県病院企業団本部
■平成29年1月発行

目次 CONTENTS

P2…企業長より

『郷診郷創』病院への信頼を勝ち取る！

P3…病院TOPIX ～奈留医療センター

ヒヤリハットならぬ「にこりほっと」??

P4…特集①『長崎県地域医療構想』を知ろう！

離島地区を中心に概要をご紹介します

P5…ちょっといいはなし

島原病院の「いいはなし」です

P6…特集②「DPC導入」と課題－シリーズ①－

離島病院の課題とスケジュールをシリーズでお伝えします

P7…職員研修について

幹部看護師初任者研修と中堅職員研修を開催しました！

P8…Break Time

〔ほめる〕

vol.
10

『郷診郷創』

きょうしん きょうそく

病院への信頼を勝ち取る！

企業長 米倉正大



明けましておめでとうございます。

2017年を迎え、皆さんはご自身やご家族、またご友人にとっても、いい年であってほしいと願ったことでしょう。長崎県病院企業団にとっても、いい年であってほしいと思います。

世界では、地球温暖化に伴う自然災害が多発し、しかもその被害は大きくなっています。またシリアをはじめとする政情不安による難民の増加は、ヨーロッパを中心に大きな問題を引き起こしています。メディアの発達により、多くの事件・事故を目にする機会が増えただけではなく、やはり世界が不安定な状況になりつつあるというのは、私だけが感じていることでしょうか。

さらに世界中の予測を覆し、米国ではトランプ大統領の政治が始動します。日本は経済的にも安全保障上でも大きな影響を覚悟しなければなりません。世界は、これ

からますます予測が難しい時代になっていくのでしょうか。

日本の医療の面では、高度医療にかかる費用をどう抑制するか、重大な局面にきています。すでに効果が証明されている遺伝子治療、高額な抗がん剤、重粒子線治療、TAVIなど数えればきりがありませんが、これらの医療費に耐えるには、莫大な経済力が求められます。

そして、われわれ病院企業団も、今年は曲がり角にきています。これまで黒字基調であった経常収支が、平成27年度及び28年度は赤字決算になろうとしています。

全国的に公的病院の経営が難しくなっています。この要因として人口の減少が挙げられます。特に、離島やへき地の人口が今後とも急激に減少していくであろうことは、想像に難くありません。

少なくなる患者数に対し、かかる経費を縮小せず、今までどおりの医療を提供しようとするれば、非効率な診療料が多くなり、赤字に転落します。

一方で医療を縮小すると、限られた人員と医療機器で診療を行うため、当然診療科の種類も少なくなります。この道の行き着くところは、病院の規模縮小、診療所化です。このように、人口減少は病院経営に影響を与えます。

しかし、患者さんの減少に対抗する手段はまだあります。いま、長崎県の離島住民の総医療費として、毎年約420億円が使われています。このうち島外に支払われる医療費は、182億円。実に43・3%にあたります。

これらのすべてとは言いませんが、2割でも島内で診療してもらえようになれば、

島外受診の2割を島内受診へ改善
した場合（単位：億円）

地域	医療費 (島外受診)	→	改善額
五島市	54		11
新上五島町	36	×	7
対馬市	44	20	9
壱岐市	48	%	9
合計	182		36

経済波及効果は…

(H23長崎県産業連関表により算出)

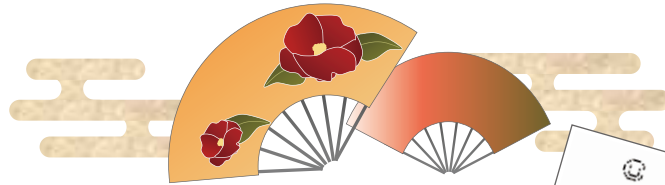
地域	効果額
五島市	17
新上五島町	12
対馬市	14
壱岐市	16

合計
59億円!

そこで、地元の病院を受診する患者さんを増やすため、『郷診郷創(きょうしんきょうそう)』『地域での受診は地域を創る』というスローガンを打ち出しました。

島内で十分な検査や治療ができるにもかかわらず、そのような情報発信が足りないために、患者さんの足は無意識のうちにも本土に向かっていきます。郷診郷創を定着させることは、『住民が地域の病院を育て、医療の質を向上させる』ことにつながり、住民、行政および病院が一体になって島の活性化の役割を担うこととなります。そのためには**病院に対する住民の信頼を勝ち取る**ことが大切だと考えています。

36億円が島内で医療費として使われ、約59億円の経済効果をもたらします(左図参照)。島の経済に大きく貢献すること、ひいては島の活性化につながるのです。



Vol.3

病院TOPIX ~ 奈留医療センター ~

『ヒヤリ ハットだけじゃない?』

「にこり ほっと」運動展開中です!」

「にこりほっと」は、県外の介護施設などが始めた「にやりほっと」(「ヒヤリハット」の反対で、スタッフが施設入居者のプラス面(できることや生活歴)に目を向け、にやりしたり、ほっとしたりしたことを記録する報告書のこと。)を参考に始めました。

職種を問わず、職場の中で「にこり」「ほっと」したエピソードをカードに書いてもらい、院内会議などで共有しています。

この活動を通し、お互いの良いところに目を向けることで、職場の人間関係がさらに良好なものになることを期待しています。

これまでに職員から寄せられた「にこりほっと」の一部をご紹介します。

季節感ある飾りを手作り
してくれる看護師さん。
季節を感じることができ、
気がめいている時に、
ふと、笑顔を思い出させて
くれます。
ありがとう!!

1年前のクリスマス時期に、一緒にクリスマスツリーの飾りつけをした女性の患者さんがいました。患者さんはとても楽しんだ様子で、クリスマスが終わりツリーを片付けるまで、サンタの人形を毎日抱いて入院生活を過ごされていました。

その患者さんは、今年の5月に永眠されました。

そして11月、クリスマスツリーの飾りつけをしている時に、飾りの大きな靴下の中に私たちへのプレゼントが入っているのを見つけました。

その患者さんが、生前「サンタさんは、プレゼントを靴下に入れとくやろ。よかもんば入れとくけん。」と言っていたのを思い出しました。

お顔を見て「ありがとう」と言えませんが、いつも抱いていたサンタの人形に「ありがとう」と「天国で楽しいクリスマスを過ごしてね」と思いを託しました。

少しサンタ人形が微笑んでいるように見えました。



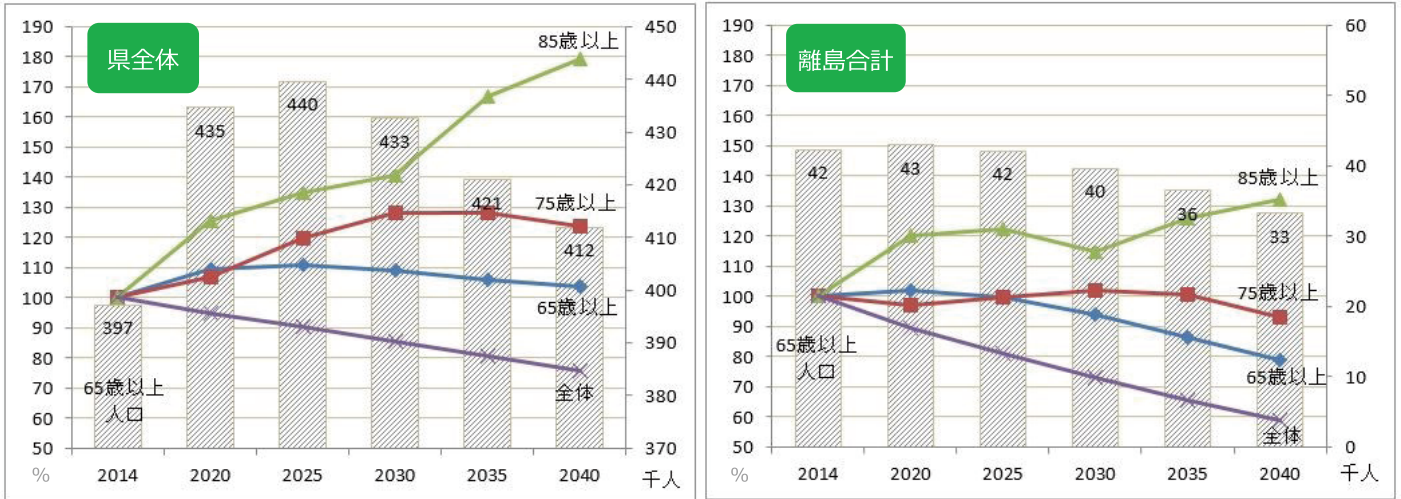
『長崎県地域医療構想』を知ろう！

長崎県では、住み慣れた地域で安心して暮らし続けていけるよう、昨年11月に「長崎県地域医療構想」を策定しました。今回、離島地区を中心に、その概要をご紹介します。

背景

団塊の世代が全て75歳以上となる2025年（平成37年）においては、医療や介護が必要な方がますます増加すると予想されています。人材などの医療資源に限られる中、効率的な医療提供体制を構築することが求められています。

年齢階層別の人口推計



※折れ線グラフ:2014年を100としたときの伸び (社会保障・人口問題研究所による推計)
棒グラフ:65歳以上人口

Point

- ・県全体では、65歳以上人口は2025年にピークを迎えますが、入院受療率が高い75歳以上の人口はその後も伸びると予想されています。
- ・離島の二次医療圏 (= 構想区域) の合計では、65歳以上人口は横ばいから減少に向かい、75歳以上人口も横ばいになると予想されています。

将来の「医療需要」の推計

現在の入院患者の診療内容データ等に基づいて、**将来の入院患者の数と、自宅や施設などにおける「在宅医療」が必要となる患者数**が推計されています。

離島では、**医療需要自体が減少**に向かうと推計されています。

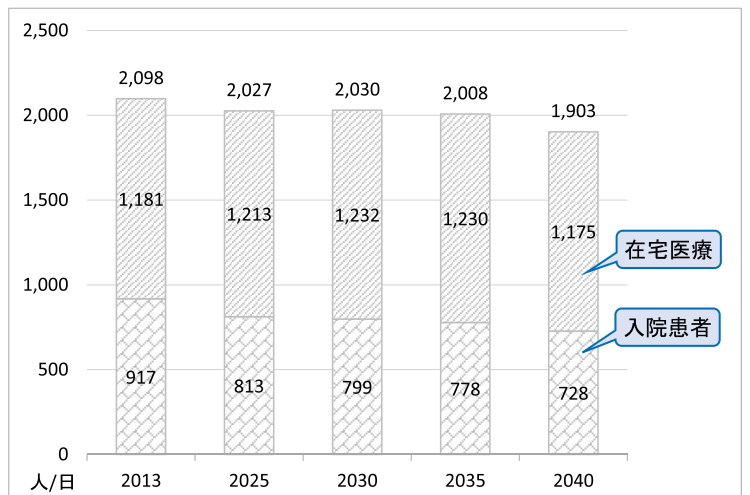
Point

構想区域別に見ると...

- 【五島区域】入院は減少、在宅医療は微増
- 【上五島区域】 【対馬区域】入院、在宅医療ともに減少
- 【舌岐区域】入院はほぼ横ばい、在宅医療は増加

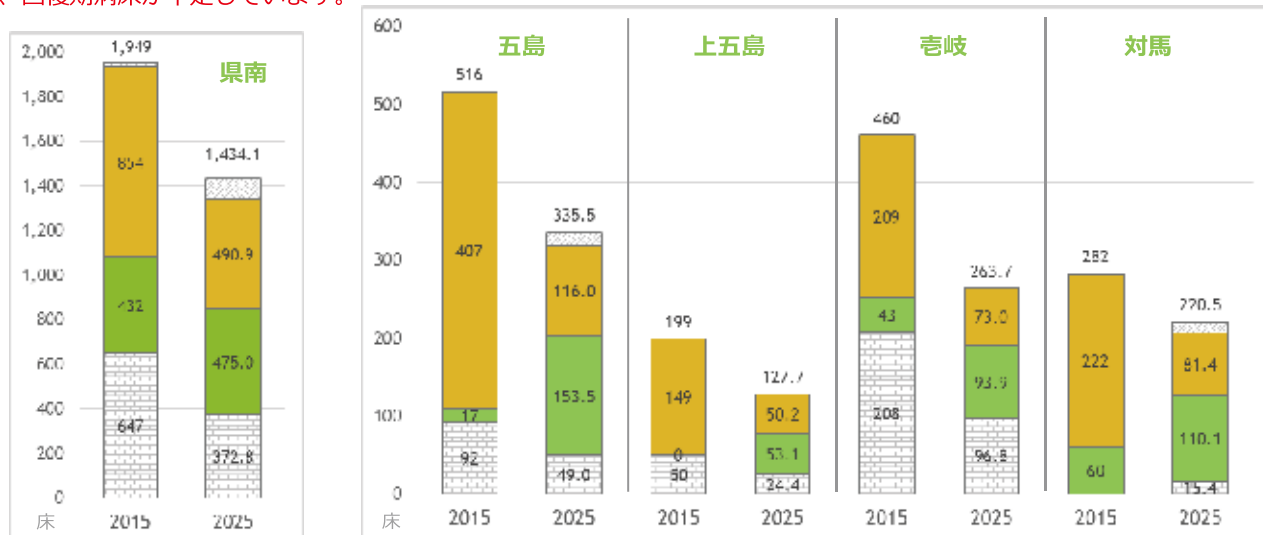


離島合計 将来の1日あたりの患者数推計



将来必要となる病床数の推計

患者の数から、将来必要となる種別ごとの病床数が推計されています。県南（島原3市）・離島では、全ての区域で急性期病床が多く、回復期病床が不足しています。



- …「高度急性期」救命救急や高度治療室など
- …「急性期」一般的な手術など
- …「回復期」在宅復帰に向けたリハビリなど
- …「慢性期」人工呼吸器による長期療養など

「急性期」から「回復期」への転換が必要

「慢性期」の患者は、病床と在宅医療で対応

Point

この「必要病床数」は、病床の削減を目的としたものではなく、「方向性（目安）」として示されています。

課題と具体的な施策

構想の実現にあたっては、次の課題に重点的に取り組む必要があります。

- ① 病床の機能分化・連携（回復期病床の充実、医療機関の役割分担、ICTを活用した連携の推進など）
- ② 在宅医療等の充実（訪問看護ステーションの整備、多職種が関わる仕組みの構築など）
- ③ 医療・介護を支える人材の確保（地域の「かかりつけ医」の役割の明確化、「総合診療専門医」の確保など）

Point

特に離島においては、**人口の減少、患者の本土地区への流出**が大きな課題として挙げられています。

今後、効率的に医療・介護を提供する仕組みづくりが必要になり、**企業団病院には、その中心として大きな役割が期待されています。**

ちょっと
いいはなし

病院より
エピソードを
寄せていただきました



心に残ったご家族からの言葉

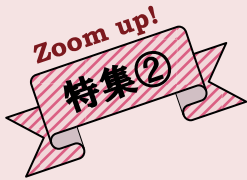
島原病院 | ICU病棟

今回、私が関わった患者さんは、一次的な混乱もあったと思いますが、いわゆるせん妄状態でした。穏やかで優しく人柄が豹変してしまったような患者さんに、ご家族は大変動揺していました。患者さんが私たちに暴力的な行動をとるたびに、ご家族は「すみません。すみません。」とひどく恐縮して何度も謝られます。

そんな状況で看護ケアをしているなか、私が患者さんに叩かれた時、とっさに「〇〇さんに、触られちゃったなあ」と言って、少しも気に留めないそぶりで接しました。

後日、ご家族から「あの時の声掛けで、気持ちがとても軽くなった。」と涙を流しながら感謝のお言葉をいただきました。「ああ、日頃からの『ご家族への看護も大事にしなければ』という思いが届いているんだ」と実感でき、とても嬉しく、自分の看護に自信がわいてきました。

暴力的になっているのは、患者さんが悪いのではなく、病態や状況など様々な環境から影響を受けたからです。そのような患者さんを見守るご家族の心身の負担はとても大きく、少しでも和らげる関わりが重要と実感しました。これからも、患者本人だけでなく、ご家族の心のケアにも心掛け、喜びや悲しみに寄り添いながら、心のこもった看護を実践していきたいと思っています。



「DPC導入」と課題 - シリーズ① -

「ふくよか7号」でご紹介したDPC制度と、平成30年度からの導入に向けて準備を進めている離島の4病院（五島中央、上五島、対馬、壱岐）の対策についてシリーズで解説します！

今号では、4病院で取組中の「機能評価係数Ⅱとその他の課題」と「導入までのスケジュール」をご紹介します。

課題とスケジュール

課題1、係数対策

「包括評価部分」はDPCコードに応じた1日当たりの「定額点数（日当点）」×「入院日数」×「医療機関別係数」（病院の体制や努力に対するインセンティブを与える係数）で評価されます。特に「医療機関別係数」の中でも、病院努力によってコントロールが可能な「機能評価係数Ⅱ」については、平成28年10月から平成29年9月までの提出データによって評価されるため、残りの期間で評価を高める対策が必要です。

機能評価係数Ⅱ

名称	評価内容
①保険診療指数	データ提出における適切な質・手順の順守を評価
②効率性指数	在院日数短縮の努力を評価
③複雑性指数	症状が複雑で入院が長引きがちな患者の割合
④カバー率指数	様々な疾患に対応できる総合的な体制を評価
⑤救急医療指数	救急医療の対象となる患者治療に要する資源投入量の乖離を評価
⑥地域医療指数	地域医療への貢献を評価
⑦後発医薬品指数	入院医療に用いる後発医薬品の使用（数量シェア）を評価
⑧重症度指数	患者の重症度の乖離率を評価

赤字の項目は、DPC移行後に安定した病院経営を行うためにも、十分な対策が必要です。特に今後はこの機能評価係数Ⅱの重要度が増してくるため、全職員が協力して、スピーディーに対応しなければなりません！

課題2、DPC準備委員会・コーディング委員会の開催

DPC準備委員会は職員がDPCを理解し、対策や課題を共有するために必要で、定期的に行われます。コーディング委員会は適正なコーディング（病名付け）を行うため、年に4回開催することが義務付けられています。今後のコーディングルールを定着させるためにも特に重要な委員会です。

課題3、クリニカルパスの作成

DPC制度では、同じ病名でも手術・処置や副傷病の違いで日当点や入院期間が異なります。そこで今後は、コーディングされたDPCコード毎でのクリニカルパスを作成し運用準備をしていくことが必要になります。特に、医療行為や入院日数の標準化は今後重要なポイントになってきます。

導入スケジュール

平成30年4月導入までに、取り組むべき対策がたくさんあります。（>_<）

次回は、**コーディング対策**について詳しくご紹介いたします！

対策項目	H29年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	H30年1月	2月	3月	4月					
係数対策	←			H30年度係数評価期間						←						H31年度係数評価期間		→			
	←			機能評価係数Ⅱ対策													←		H31年度係数Ⅱ対策		→
クリニカルパス				対象パス洗い出し		パス内容の検討			パスの改定と承認												
コーディング	必要作業の洗い出し			コーディングフローの構築・決定						システム改修		診療報酬改定対策						Dファイル作成			
DPC準備委員会	★			★			★						★								

幹部 看護師 初任者研修

11月17日・18日に「第1回 幹部看護師初任者研修会」を開催しました。

中間看護管理者としての職務遂行上におけるスキル向上を目的としています。企業団病院の状況や『組織変革理論』、『問題解決プロセス』、『フィッシュ哲学』、『ストレスマネジメント』などの講義を通して、看護管理者に必要な能力を学びました。

ストレスに負けない「3R」

- ① Rest
- ② Refresh
- ③ Relax

精神医療センター
山中 利文 看護部長による講義

「人材」それとも「人財」 あなたはどちらになりますか？

- 組織の3要素
- ① 貢献意欲 ② 共通目的
 - ③ コミュニケーション

- 看護管理者に必要な能力
- ① 専門的能力 ② 対人的能力 ③ 概念化能力

長崎大学病院 貞方 三枝子 副看護部長
による講義

ワークショップ「魅力ある職場にするために」



【感想】
○『唯一生き残ることができるのは変化できる者である』という言葉は、今の私への“救いの言葉”となった。
○スタッフそれぞれが病院経営を担っている組織の一員であることに気付かされた。

中堅職員研修

11月28日・29日に「第3回 中堅職員研修会 in 伊王島」を開催しました。

この研修会は、長崎県病院企業団の中堅職員として必要な組織マネジメントを学び、構成員の1人として誇りと責任を持ち「一体感の醸成」を図ることを目的としています。



米倉企業長

仕事は誰のため・・・？

【感想】

- 他の病院の同じ立場の仲間から仕事に対する考えを聞くことができ、貴重な時間が過ごせた。
- 他病院、他職種の方とゆっくり話をすることができ、親睦が深まった。
- 職員間を繋ぐパイプ役として中堅の役割を果たすにはコミュニケーションが大事だと感じた。



島原病院 徳永院長



川良副企業長

郷 診 郷 創



Break Time : 「ほめる」

近年、「ほめる」ことの重要性がさかんにメディアで取り上げられ、企業でも導入されるようになっていきます。

ほめられて不快になる人はいません。また、基本的には、人はほめることで伸びるものです。だったら、自分もやってみようと思う人もいるでしょう。しかし、なかなか踏み出せない。なぜでしょうか？

ほめるには、「人に好奇心を向けて話を聴く」、「その人の魅力や可能性を認めて伝える」ことが必要です。そのためには相手を愛情をもって、注意深く観察しなければなりません、これがなかなか難しい。ネタがないと、ほめたくともほめようがないということではないかと思えます。

そこでカギとなるのが人に好奇心を向けられるかどうかということ。好奇心を持てれば、その人の魅力や長所が目にとまります。そうすることで自然に相手に対する親しみや尊敬の気持ちが生まれ、その気持ちを時をたがえず（タイミングは非常に重要！）に相手に伝えればいいのです。まあ、言うほど簡単ではないとは思いますが……。

次に、人はどんなふうにほめられるとうれしいのかが気になります。実は、私たち人類すべてに共通するほめ方の指標、すなわち、環境<行動<能力<信念・価値観<アイデンティティ（自己認識）という階層構造があるそうです。外見などの環境をほめるより、「信念」や「価値観」、「あり方」を認めるほうが効果的だということです。

これまでの話、㈱ビィハイブの谷口祥子代表取締役のサクセスネット通信がネタ元です。谷口さんは、もともと人づきあいがあまり得意ではなかったのが、コーチングと出会い、カルチャーショックを受け、ほめる習慣を身に着けることで、人生までもが劇的に変わった（まるで別人に生まれ変わった）そうです。

皆さんも、これを機に、一步踏み出してみませんか。少なくとも、ほめられて不快になる人はいませんし、プラス、ほめた自分も気持ち良くなること請け合いです。

※ネットで「乗り移り人生相談314」を検索してみてください。参考になりますよ！

（文：副企業長 川良数行）

編集後記



あけましておめでとうございます。

今号では奈留医療センターから「病院TOPIX」、島原病院から「ちょっといいはなし」の記事を寄せて頂きました。どちらも温かい話で、思わずウルっとなりながら読ませて頂きました。さわやかな新年のスタートがきれました。ありがとうございました。

表紙のはなし「伊勢神宮の神鶏」

伊勢神宮の式年遷宮では、宮司が儀式の始まりに、鶏の鳴き声の真似を3回行う「鶏鳴三声」を行います。これは、天の岩戸に隠れた天照大御神を外へ出すために、長鳴鳥（鶏）が「カケコー」と三回鳴いたという伝説から来ているそうです。鶏が「神の鳥」と呼ばれる由縁もここから来ています。

ふゆか

平成29年1月発行
編集・発行／長崎県病院企業団本部
〒850-0033 長崎市万才町4-12 日本生命ビル旧館6階
TEL.095-825-2255 FAX.095-828-4759
E-mail : honbu@nagasaki-hosp-agency.or.jp
URL : <http://www.nagasaki-hosp-agency.or.jp/>



長崎県病院企業団

検索